

令和4年度 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課委託事業 薬剤師確保のための調査・検討事業

## 「薬剤師確保に係る調査」

## ご回答方法

- ・貴院の薬剤師部門の代表者の方にご回答をお願いいたします。
- ・（ ）内には具体的な数字、用語等をご記入ください。「0人」などの場合、空欄とせず「0」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、2022年10月31日現在の状況についてお答えください。
- ・本調査では、「常勤」とは雇用形態に関わらず貴院で定めた1週間の勤務時間（所定労働時間）に勤務している方、「非常勤」とは上記以外の方としてお考えください。

## 1. 貴院の基本情報についてお伺いします

## 問1-1 貴院の概要についてお答えください。

1) 開設者※ (○は1つ)	1. 国立(独立行政法人含む)	2. 公立
	3. 公的	4. 社会保険関係団体
	5. 医療法人	6. その他の法人
	7. 個人	

※：国立（国、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構）  
 公立（都道府県、市区町村、地方独立行政法人）  
 公的（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）  
 社会保険関係（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）  
 医療法人（社会医療法人は含まない）  
 その他の法人（公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他の法人）

## 2) 標榜診療科（あてはまるもの全てに○）

1. 内科	2. 呼吸器内科	3. 循環器内科	4. 消化器内科(胃腸内科)	5. 腎臓内科	6. 脳神経内科
7. 糖尿病内科(代謝内科)	8. 血液内科	9. 皮膚科	10. アレルギー科	11. リウマチ科	
12. 感染症内科	13. 小児科	14. 精神科	15. 心療内科	16. 外科	17. 呼吸器外科
18. 心臓血管外科(循環器外科を含む)	19. 乳腺外科	20. 気管食道外科	21. 消化器外科(胃腸外科)		
22. 泌尿器科	23. 肛門外科	24. 脳神経外科	25. 整形外科	26. 形成外科	27. 美容外科
28. 眼科	29. 耳鼻いんこう科	30. 小児外科	31. 産婦人科	32. 産科	33. 婦人科
34. リハビリテーション科	35. 放射線科	36. 麻酔科	37. 病理診断科	38. 臨床検査科	
39. 救急科	40. 歯科	41. 矯正歯科	42. 小児歯科	43. 歯科口腔外科	44. その他（ ）

3) 救急医療体制 (○は1つ)	1. 初期(初期救急医療体制)	2. 二次(入院を要する救急医療体制)
	3. 三次(救命救急センター)	4. 体制なし

4) 承認等の状況 (あてはまるもの全てに○)	1. 特定機能病院	2. 地域医療支援病院	3. 臨床研究中核病院
	4. いずれにも該当しない		

5) DPC 対応状況 (○は1つ)	1. DPC 対象病院	2. DPC 準備病院	3. いずれにも該当しない
-----------------------	-------------	-------------	---------------

6) 医療機能 (あてはまるもの全てに○)	1. 高度急性期機能	2. 急性期機能
	3. 回復期機能	4. 慢性期機能

## 問1-2 許可病床数をお答えください。(数字記入)

一般病床	療養病床	精神病床	感染症病床	結核病床	全体
床	床	床	床	床	床

問1-3 同一経営主体の病院数をお答えください。(数字記入) ※法人が異なるが実質的に同一経営の場合も含まれます。	施設 (貴院も含む)
問1-4 貴院は所在都道府県内のどのような地域に所在するとお考えですか。以下の選択肢のうち、最もあてはまるものをお答えください。(○は1つ)	
1. 都市部            2. 地方部(僻地以外)            3. 僻地	
問1-5 調剤機器※を導入していますか。(○は1つ) ※一包化支援、監査支援、薬剤の取り揃え、外用剤や液剤の調製等の場面で使用される、調剤にかかる業務の効率化に資する機器をご想定ください。	1. はい    2. いいえ
問1-6 2022年10月末時点で貴院が届け出ている又は2022年10月の1か月間に算定している診療報酬項目として該当するものをすべて回答してください。(あてはまるもの全てに○)	
1. 病棟薬剤業務実施加算1 2. 病棟薬剤業務実施加算2 3. 薬剤管理指導料1 4. 薬剤管理指導料2 5. 退院時薬剤情報管理指導料 6. 退院時薬剤情報管理指導料・退院時薬剤情報管理指導連携加算 7. 小児入院医療管理料・退院時薬剤情報管理指導連携加算 8. 外来化学療法加算1 9. 外来化学療法加算2 10. 外来腫瘍化学療法診療料1 11. 外来腫瘍化学療法診療料2 12. 外来腫瘍化学療法診療料・連携充実加算 13. 上記のうち該当するものはない	

## 2. 薬剤師の確保状況等についてお伺いします

※問2は、法人全体ではなく貴院単体の状況についてお答えください。

問2-1 貴院における、令和4年10月末時点における1)薬剤師の定員(法定の定員ではなく貴院が定める定員をご記載ください。また定員を定めていない場合、現在の薬剤師数に、現在募集している薬剤師数を加算した人数)、2)薬剤師数(休職を除き、派遣薬剤師を含む)、3)レジデント・研修職員数、4)薬剤部内の薬剤師以外の職員数をご記入ください。(数字記入)

※常勤換算数の算出方法:「職員の1週間の契約上の労働時間÷貴院の1週間の所定労働時間」にて算出し、小数点以下第2位を四捨五入してください(以降の設問でも同様)。

※本設問は、治験・臨床研究、医療安全管理等の業務に従事する薬剤師や管理職の薬剤師を含むものとしてお答えください。

	常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算
1) 薬剤師の定員	人	人	人
2) 薬剤師数	人	人	人
3) レジデント・研修職員数	人	人	人
4) 薬剤部内の薬剤師以外の職員数	人	人	人

問2-2 次の取組について、貴院の薬剤部門での実施・検討状況をお答えください。(それぞれ1つに○)	
1) 24時間対応	1. 実施済み 2. 実施予定有り 3. 薬剤師が確保できれば実施したい 4. 実施予定無し
2) 病棟業務	1. 実施済み 2. 実施予定有り 3. 薬剤師が確保できれば実施したい 4. 実施予定無し
3) チーム医療への参画	1. 実施済み 2. 実施予定有り 3. 薬剤師が確保できれば実施したい 4. 実施予定無し
4) 地域での多職種連携 (薬薬連携含む)	1. 実施済み 2. 実施予定有り 3. 薬剤師が確保できれば実施したい 4. 実施予定無し
5) 外来化学療法	1. 実施済み 2. 実施予定有り 3. 薬剤師が確保できれば実施したい 4. 実施予定無し
6) 薬剤師外来	1. 実施済み 2. 実施予定有り 3. 薬剤師が確保できれば実施したい 4. 実施予定無し
7) 治療薬物モニタリング (TDM)	1. 実施済み 2. 実施予定有り 3. 薬剤師が確保できれば実施したい 4. 実施予定無し
8) 医薬品情報管理 (DI) 専門部署の設置	1. 実施済み 2. 実施予定有り 3. 薬剤師が確保できれば実施したい 4. 実施予定無し
9) 医療安全管理部門業務への参画	1. 実施済み 2. 実施予定有り 3. 薬剤師が確保できれば実施したい 4. 実施予定無し
10) その他、薬剤師が確保できれば実施したい業務 ( )	

問2-3 現在、薬剤師は充足しているとお考えですか。(それぞれ○は1つ)	
1) 現在の定員 (定員を設定していない場合には、現在の薬剤師数に、現在募集している薬剤師数を加算した人数) を前提とした場合の充足状況	1. 足りている 2. やや足りない 3. 全く足りない
2) 需要があり業務を拡大したい場合や、現在薬剤師の人材不足のため実施できていない業務を今後、実施することを前提とした場合の充足状況	1. 足りている 2. やや足りない 3. 全く足りない

問2-4 貴院にとって業務上必要と考える薬剤師の総数 (定員数によらない) を、以下に記載する1)に示す前提に従い、常勤職員、非常勤職員 (常勤換算) に分けてお答えください。(数字記入)		
	① 常勤職員	② 非常勤 (常勤換算)
1) 需要があり業務を拡大したい場合や、現在薬剤師の人材不足のため実施できていない業務を今後、実施することを前提とした場合 (問2-2で「3. 薬剤師が確保できれば実施したい」を選択した業務を含め実施するとした場合) に必要と考える薬剤師数の総数	( ) 人	( ) 人

問2-5 貴院の経営層との間で、薬剤師の充足状況の認識が共有されていますか。また、薬剤師確保の方針 (確保する目標薬剤師数や確保時期など) は一致していますか。(○は1つ)	1. 共有し薬剤師確保の方針も一致している 2. 共有しているが薬剤師確保の方針は一致していない 3. 共有していない
--	---

### 3. 貴院の業務状況についてお伺いします

#### 問3-1 入院患者数および外来患者への処方状況をお答えください。(数字記入)

※本設問における「任意の2週間」は、問4-2、問4-4に示す2週間と同じ期間を対象としてお答えください。

	一般病床	療養病床	精神病床	感染症病床	結核病床	全体
1) 入院患者数 (調査票を受け取られた後の任意の2週(14日間)における各日の0時時点の入院患者数の延べ人数)(数字記入)	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
2) 入院患者の平均在院日数 (令和4年10月の1か月の入院基本料等の施設基準で利用したもの) ※1: 病床種類ごとに複数の病棟がある場合には、各病棟の平均在院日数の平均値をお答えください。 ※2: 小数点以下第2位を四捨五入して、小数点以下第1位までを記入	( ) 日	( ) 日	( ) 日	( ) 日	( ) 日	
3) 入院患者への処方状況 (調査票を受け取られた後の任意の2週間(14日間)の合計)(数字記入)	処方箋枚数 ( ) 枚					
4) 外来患者への処方の状況 (調査票を受け取られた後の任意の2週間(14日間)の合計)(数字記入)	院内: 処方箋枚数 ( ) 枚 院外: 処方箋交付回数 ( ) 枚					

#### 問3-2 入院患者数のうち、どの程度の割合の患者が、貴院が所在する二次医療圏内に居住する患者であるか把握していますか。把握している場合、割合を%単位でお答えください。(数字記入)

※小数点以下は四捨五入して整数でお答えください。

- 把握している  
→ ( ) %
- 把握していない

#### 4. 薬剤師の勤務状況についてお伺いします

※問 4-2、問 4-4 における「任意の 2 週間」は、問 3-1 に示す 2 週間と同じ期間を対象としてお答えください。

問 4 - 1 令和 4 年 10 月 1 か月間に貴院で勤務した全ての薬剤師（休職中の者を除き、派遣薬剤師、1 か月の途中に入職した者、退職した者を含む）を対象として、令和 4 年 10 月 31 日（退職した者については退職時点）における①勤務形態、②性別、③年齢階級、令和 4 年 10 月の 1 か月間の④実労働時間をお答えください。

	①勤務形態 (10 月 31 日時点) (1 つ記入)	②性別 (10 月 31 日時点) (1 つ記入)	③年齢階級 (10 月 31 日時点) (1 つ記入)	④実労働時間 (10 月の 1 か月間) (数字記入)
	1. 常勤 2. 非常勤	1. 男性 2. 女性	1. 20 代 2. 30 代 3. 40 代 4. 50 代 5. 60 代 6. 70 代以上	※小数点第 1 位を四捨五入して整数でお答えください。
1				時間
2				時間
3				時間
4				時間
5				時間

(上記のような表形式の調査票を準備し、全薬剤師分を回答していただく)

問 4 - 2 以下に示す業務について、調査票を受け取られた後の任意の 2 週間（14 日間）を対象期間として、貴院に勤務する全ての薬剤師の労働時間の合計をお答えください。（数字記入）

※1：詳細な数値が不明な場合には、概数をお答えください。

※2：例えば、院内処方への調剤等にかかる業務に 2 人の薬剤師が関与している場合、2 人の労働時間の合計を記載してください。

1) 全ての入院患者の調剤にかかる労働時間	時間
2) 全ての入院患者の調剤以外（病棟業務等）にかかる労働時間	時間
3) 全ての外来患者の院内処方に係る調剤・服薬指導等の業務にかかる労働時間	時間
4) 管理業務等、上記 1)～3)以外の全ての業務にかかる労働時間	時間

問 4 - 3 以下に示す業務について、貴院で薬剤師が不足している場合、どのような方針で対応していますか。1)～4)のそれぞれについて最も当てはまるものを選択肢から 1 つ選びお答えください。（1 つ選ぶ）

※1：詳細な数値が不明な場合には、概数をお答えください。

#### 選択肢

1. 1 業務当たりの対応時間は減らさず、労働時間を増やして対応する
2. 労働時間は増やさず、1 業務当たりの対応時間を減らして対応する
3. 1 業務当たりの対応時間は減らさず、労働時間は増やさず、業務量自体（入院患者数、外来患者院内処方数、管理業務等の業務量）を減らして対応する。
4. 上記 1～3 をその時の状況に応じて対応する

1) 全ての入院患者の調剤にかかる労働時間	1	2	3	4
2) 全ての入院患者の調剤以外（病棟業務等）にかかる労働時間	1	2	3	4
3) 全ての外来患者の院内処方に係る調剤・服薬指導等の業務にかかる労働時間	1	2	3	4
4) 管理業務等、上記 1)～3)以外の全ての業務にかかる労働時間	1	2	3	4

問4-4 コロナ禍やジェネリック医薬品の供給が不安定であることなど、近年生じている事象による影響で、以下に示す業務について業務量が通常時と比べて多くなっていたら、調査票を受け取られた後の任意の2週間（14日間）を対象期間として、貴院で勤務する全ての薬剤師の労働時間の通常時からの増加分をお答えください。増加していない場合には、必ず「0」をご記入下さい。（数字記入）  
 ※1：詳細な数値が不明な場合には、概数をお答えください。

1) 全ての入院患者の調剤にかかる労働時間	時間
2) 全ての入院患者の調剤以外（病棟業務等）にかかる労働時間	時間
3) 全ての外来患者の院内処方に係る調剤・服薬指導等の業務にかかる労働時間	時間
4) 管理業務等、上記1)～3)以外の全ての業務にかかる労働時間	時間

質問は以上です。ご協力を頂きまして誠にありがとうございました。